



竹島水族館

市で、建物は民間所有のため、官民一体となり地域の賑わいを検討したい。

問 以前、三河港ポートルネッサンス21計画を策定したと思うが、蒲郡駅から竹島までの導線で、蒲郡の観光をどう考えるのか。

答 現在、計画は中断しているが、竹島地区周辺は、海のまち蒲郡として重要な観光スポットである。施設間の連携を図り、観光地としての発展を進める必要があると考える。

鈴木基夫 (自由クラブ)

ソフィア看護専門学校と市民病院の連携を

問 平成27年度のソフィア看護専門学校卒業予定者のうち、市民病院での採用の見込みは。

答 年度末の卒業予定者数は29名であり、そのうち約79%にあたる23名が現在、市民病院の採用試験を受けている。

問 ソフィア看護専門学校から市民病院に採用となった生徒の、これまでの実績はどのようか。

答 7対1看護体制を運用する平成19年度以前は、年間8名程度の採用であったが、その後は毎年20名前後の採用者をソフィア看護専門学校から確保している。特に最近の3年間では、採用者が卒業生全体の約7割から8割を超える割合となり、学校の存在が看護師確保に大きな役割を果たしている。

問 ソフィア看護専門学校と市民病院の今後の連



ソフィア看護専門学校

携について伺う。

答 ソフィア看護専門学校は、地域社会に暮らす人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成することが基本理念である。これに基づき、本市の地域医療の中核病院である市民病院からの看護師募集に応えられよう積極的に取り組むとともに、一人でも多くの学生が採用となるよう就職指導を行っており、学校と病院が互いに連携しながら、看護師の育成に努めている。今後も市民病院と連携しながら、引き続き地域社会に貢献する看護師を育成するということ、ソフィア看護専門学校との連携を認識し、果たしていきたい。

柴田安彦 (無党派)

海陽町地内の大学艇庫移設について

問 大学艇庫の移設の費用負担は、土地を最終的に購入するラグーナテンボスがすべきだったと思うが、なぜ市が仲介や交渉の協力だけではなく、費用負担まですることになったのか。

答 基本合意書の中で「蒲郡市の費用で艇庫を平成27年9月までに撤去し、譲渡する」という条項を結んでいる。ラグーナ地区のさらなる発展のため、事業経験豊富なエイチ・アイ・エスを招聘し、艇庫移設も市で行うこととした。

問 移設をしなければ30年間で5599万円の賃料収入がある。一方、移設をした場合、30年間で約2億円の賃料収入となるが、建設費約3億円、解体費約2千万円、移転補償費約2億円の合計5億2千万円の支出となる。移設すると移設しない場合に比べて約3億7千万円の負担増となる。



移設前の旧大学艇庫

新聞各紙が移転補償費5千万円と報じているのは、誤りではないか。

答 今回の支出は、愛知県やトヨタ等とも協議の末、ラグーナテンボスを市の観光資源、働く場として残すため決断したものである。移転補償費は、約2億円を支出したうち1億5千万円が艇庫の賃借料に上乗せする形だが、返還されるという考え方である。

問 今後、企業との交渉にあたっては、情報を流さないことを条件とした秘密会を開いて事前に議者と相談する考えはないか。

答 企業の経営戦略等の情報が漏れる場合もある。慎重な対応をしていきたい。